

## 東北地方太平洋沖地震に係る被災宅地危険度判定活動について

平成23年4月28日

平成23年3月11日（金）に発生した東北地方太平洋沖地震に伴い、宅地の崩壊等による人的二次災害防止を図る上で必要となる被災宅地危険度判定にあたり、宮城県から国土交通省を通じ被災宅地危険度判定士の派遣要請があり、秦野市から次のとおり市職員3名の判定士を派遣し、判定活動を実施した。

### 1 支援内容

(1) 判定活動期間：平成23年3月23日（水）から24日（木）まで

（派遣期間：22日（火）から25（金））

(2) 派遣職員 3名（開発指導課・都市づくり課・建築住宅課から各1名）

(3) 判定区域 宮城県仙台市太白区

### 2 活動の内容

住宅が建っている地盤、擁壁の亀裂、損傷状況を見て、今後、崩壊などの人的二次災害が起きないかの危険度を判定した。

### 3 被災宅地の状況

判定活動を行った結果、判定対象である地盤・擁壁には、地盤の段差・ひび割れや擁壁のクラック・ふくらみ・崩壊があり、判定所見として、宅地に入る場合には十分注意が必要な箇所があった。

3月23日（水）				3月24日（木）				合計			
判定結果				判定結果				(3/23～3/24)			
危険	要注意	調査済	計	危険	要注意	調査済	計	危険	要注意	調査済	計
0	5	1	6	1	4	2	7	1	9	3	13

### 4 被災地の状況

切土と盛土の境や谷部を埋め立てた箇所に被害が集中していた。

玉石積みの擁壁が崩壊しているものやブロック塀が倒壊しているものが見受けられた。

家屋が完全に倒壊しているものはなかったが、家の隅々に地震の爪あとが見受けられた。

### 5 仙台市内の状況

市内の中心部は、道路の陥没、建物（ビル）のガラスの破損や壁での亀裂が一部見受けられたが、地震の被害を感じさせない状況でした。

### 6 県内の対応状況

県内では、神奈川県を始め横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、厚木市、大和市、藤沢市、鎌倉市も判定士を派遣した。

## 判定活動状況



道路陥没によるマンホール突出の状況



宅地内の地盤の陥没



玉石積み擁壁の崩壊の状況



ブロック塀の転倒の状況



犬走りコンクリートの亀裂の状況



判定結果票の貼付による周知